



Co-Creation

with the community

創刊号

大学・地域連携推進室 広報誌

Community
Contribution



Cooperation!



Work
experience



Contents

- P1 学長挨拶、基本的考え方、推進体制
- P2 平成28年度下期学生表彰
- P3-4 地域連携／新宮町・古賀市、課題解決型インターンシップ
- P5-6 医介学連携／福岡和白病院・創生会・福岡工業大学
国公立3大学連携／長崎大学・熊本県立大学・福岡工業大学
東部地域大学連携／福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学



福岡工業大学 学長
下村 輝夫

地域との連携を推進し、 開かれた大学を目指します。

福岡工業大学の「建学の綱領」第2条には、“宇宙の真理を探究しこれを実生活に応用して社会に貢献する”と謳われています。大学の機能は、教育と研究及び社会貢献であり、さらにこれらの有機的な統合とバランスにあります。

大学には、地域の発展に役立つ人材の養成と、地域を越えて全国的に活躍する人材の養成が、そしてまた地域に貢献できるユニークな研究と、地域に捉われることなく全国的・世界的な研究遂行が求められています。言い換えれば、大学の存在は、グローバルにしてローカル、つまりグローバルな存在であることが求められています。地域貢献の課題は、大学と言う組織の独自性にあると言われています。

福岡工業大学は、このような背景のもとに、大学が地域と本気で繋がるためには学部・学科間を横断し、より多くの学生が参加するためのカリキュラム設計を実践すると同時に、大学と地域とが共に生き残りをかけてパートナーシップを組み連携を図っていくことが不可欠との判断により、「大学・地域連携推進室」を設置致しました。

福岡工業大学は、「地域に生きる存在」から「地域を活かす存在」へと弛まぬ努力と精進を続け、開かれた大学を目指してまいります。そのためには、関係各位のご指導とご支援が不可欠となります。今後とも、何卒よろしくご鞭撻賜りますよう心からお願い申し上げます。

基本的考え方

教育活動と連動した 地域連携・社会貢献

本学が持つ人的・物的資源を総合的に活用し、多様な形で地域社会との連携を推進していきます。例えば、地域の課題解決のためのPBL、ボランティア活動など、カリキュラムの内外を通じて「地域に開かれた教育」を実践してまいります。



▲大学ネットワークふくおかの「ビジネスチャレンジ事業」で優秀賞を獲得



▶ PBL 活動成果として
新宮町長へポスターを贈呈

推進体制

連携協定の積極的活用と連携窓口 「大学・地域連携推進室」の設置

学長のリーダーシップのもと、連携強化に向けて近隣自治体、企業、大学等との「包括的連携協定」を積極的に活用しています。また学内には連携推進のための専門部署「大学・地域連携推進室」を設置。大学と地域社会を繋ぐコーディネーターとして、学生と地域双方にとってWin-Winとなるような関係構築を目指してまいります。



平成 28 年度下期学生表彰



学生表彰式の様子です。

新宮町の課題解決に向けたプロジェクト2件が学生表彰に輝きました！

平成 29 年 2 月 22 日に平成 28 年度下期学生表彰式が開催されました。学生表彰は、学業、研究、課外活動等で活躍した学生及び団体が表彰されるもので、今回は 16 団体、個人 35 名に下村学長より表彰状が授与されました。その中に、新宮町の観光情報発信に関する 2 つの課外活動「たのしんぐらプロジェクト」「新宮町旅エンジョイプロジェクト（略称 STEP）」が選ばれました。いずれも新宮町の観光資源への認知度向上を目的として、新宮町の魅力発信にチーム一丸となって取り組んだものです。

たのしんぐらプロジェクト

地域課題解決をテーマとする高度 ICT 人材教育大学連合コンソーシアムによる PBL（課題解決型学習）として、新宮町の観光情報ポータルサイト「たのしんぐら」を構築すると共に、スタンプラリー機能を備えた相島観光案内スマートフォンアプリ「たのスタ相島」を開発しました。

新宮町旅エンジョイプロジェクト

相島と新宮漁港を結ぶ町営渡船内で上映する新宮町の観光スポットを紹介する動画を 2 本を制作しました。

今回の表彰では、就職活動や学業の合間を縫って成果物を作り上げた地域貢献活動が高く評価されました。新宮町産業振興課からも「学生の皆さんが予想以上に良いものを作ってくれて感謝しています。」とのお言葉をいただきました。それぞれに苦勞して作り上げた作品だけに、受賞後の学生は皆晴れやかな笑顔を見せていました。課題について自分たちの頭と足を使って解決策を具体化し、チーム内外のコミュニケーションを大切に最後までやり遂げた経験は、実社会でも必ず役立つに違いありません。



▲情報ポータルサイト「たのしんぐら」



▲観光案内スマートフォンアプリ「たのスタ相島」

▲新宮町旅エンジョイプロジェクト「相島紹介」動画

プロジェクトリーダーインタビュー

見事学生表彰に輝いたプロジェクトのリーダーに聞きました。

たのしんぐらプロジェクトリーダー

情報工学部 4 年 松前 洋佑さん

4 月の活動開始からほぼ 1 年間、なんとかリーダーとしての役目を果たすことができました。このような形で活動を評価していただき光栄に思っています。Linked Open Data Challenge 2016 でも優秀賞と LOD for 地方創生賞を W 受賞し、全員で頑張った甲斐がありました！新宮町や指導いただいた若原先生、山口先生にお礼申し上げます。ありがとうございました！



たのしんぐらプロジェクトの皆さん

新宮町旅エンジョイプロジェクト(略称 STEP)リーダー

情報工学部 4 年 佐藤 駿一さん

学科や学年の違うメンバーでのプロジェクト、しかも 4 年生が多く就職活動や学業との両立で苦勞しましたがなんとか形にすることができました。本当に忘れられない経験になりました。私たちの努力の成果が、新宮町や相島を訪れる観光客の方々に喜んでてもらえたら嬉しいです！



新宮町旅エンジョイプロジェクトの皆さん

観光振興を始め、新宮町との連携が多くの注目を集めました！

新宮町と福岡工業大学は、平成 26 年 3 月 20 日に包括的連携協定を締結しました。豊かな自然と福岡市に隣接した利便性を求めて子育て世代の転入が多い新宮町は、全国の市町村で人口増加率 No.1 を誇っています。本学との連携では、子育て支援や町の魅力発信といった行政課題を中心に様々な事業を展開しており、審議会委員の派遣協力やボランティアによる防犯パトロールといった従来からの連携はもちろん、学生の若さと感性を活かした新しい取り組みが地域でも高く評価されています。

寺子屋事業



夏休みの小・中学生の居場所づくりと地域ぐるみの子育て支援を目的として、新宮町内 15 の行政区で実施された「寺子屋事業」。福岡工業大学は子ども達の宿題や遊びをサポートする「見守りボランティア」に学生を 12 名延べ 53 回派遣しました。また大学ならではの特長を活かした理科実験や子供英語教室など 12 のプログラムを、教員や学生サークルによる「出前授業」として 20 回実施。参加した学生たちの教育効果も高い連携事業の一つです。

子ども体験クラブ・サマーキャンプ



新宮町では、自然体験・野外活動を通じた子どもたちの豊かな成長を目的に様々な体験活動を実施しています。その活動をサポートするため、今年も学生有志 3 名が子ども体験クラブ 4 回と 2 泊 3 日のサマーキャンプにボランティアとして参加しました。大学生のお兄さん、お姉さんとして子どもたちと寝食を共にしながら、スタッフとともに円滑な運営や安全確保に取り組み、その働きぶりが高く評価されました。

VR(Virtual Reality)を用いた幼児用登下校登校訓練シミュレーターの開発



サービス産業におけるイノベーションに情報工学的アプローチで貢献する「サービスサイエンス」。その教育研究活動の一環として、システムマネジメント学科藤岡研究室の学生 2 名が新宮町を舞台とした登校訓練シミュレーターの開発に取り組みました。新 1 年生の登下校時における交通事故削減に向けて、新宮町学校教育課や福岡県警察本部交通企画課から実用化への熱い期待が寄せられています。

立花小学校における ICT(情報通信技術)活用助言



新宮町学校教育課の呼びかけを受けて、システムマネジメント学科の藤岡寛之教授が、新宮町立花小学校で開催された「ICT を活用したアクティブ・ラーニング推進のための意見交換会」に参加。授業における ICT の効果的活用や小学校でのプログラミング教育の導入に向けて積極的な助言を行いました。また立花小学校と福岡工業大学での相互授業見学、立花小学校 6 年生の社会科見学受け入れなど、小・大連携の輪も広がっています。

観光情報発信

新宮町の魅力をアピールする観光情報発信については、おもてなし協会、産業振興課との協働により、連携当初より学生の課外プロジェクトとして積極的に取り組んでいます。平成 27 年度は学生有志のクリエイティブユニット「UNIQUE」による 3 枚組観光ポスターを作成、平成 28 年度は情報ポータルサイト「たのしんぐう」の構築、相島スマートフォンアプリ開発、観光スポット紹介動画作成を行い、いずれも学生表彰を受けました(P1 参照)。また、プロジェクトに参画した学生が地元テレビ番組や新聞で取り上げられるなど、連携事業の発展とともに地域における福岡工業大学のプレゼンスも高まっています。



地域連携／古賀市

古賀市をフィールドとした教育連携・研究連携が広がっています。

古賀市と福岡工業大学は、平成 26 年 7 月 23 日に包括的連携協定を締結しました。教育支援、人材育成や地域経済活性化をテーマとする連携が着実に広がっています。また古賀市長と大学学長の定期的な意見交換を行うなど、行政と大学がそれぞれの資源や知見を提供し合うことにより、地方創生にも繋がる互恵的関係の強化を目指しています。

学習支援アシスタント事業



古賀市内の小・中学校 5 校において、学校教員の立会いのもと、卒業後に教員を目指して教職課程を履修している福岡工業大学の学生 12 名が、福岡教育大学の学生とともに授業中や放課後学習の場で“教育アシスタント”として延べ 61 回の学習支援活動を行いました。古賀市学校教育課によると、学校現場において学生達の積極的な関わりは高い評価を受けているとのこと、今後いじめや不登校に悩む児童生徒の適応指導教室や学童保育所でも、本学学生のサポートに対する期待やニーズが広がっていきそうです。

農業分野における研究協力



研究連携においては、協定締結時より古賀市が目指す都市近郊型で付加価値の高い農業振興に応用可能な研究テーマを農林振興課と模索してきました。その一環として、知能機械工学科江頭竜准教授の農産物土壌栽培におけるマイクロバブルによる灌水、電気工学科北崎訓助教の野菜種子への放電プラズマ照射など、大学での研究が古賀市特産の農産物にも応用できるかを調べるための実証実験が進んでいます。こうした連携協力の中から、通常では入手不可能なブランド苺“あまおう”の苗を福岡県より譲り受け、現在江頭研究室でマイクロバブル水を用いた露地栽培に取り組んでいます。

課題解決型インターンシップ

連携協定を活用して 先進的インターンシップの実施に 貢献しました！

福岡工業大学では、学部の 2 年、3 年次に就業力育成を目的とした正規科目「就業実習(インターンシップ)」を設けています。平成 28 年度からは従来の職場体験型を発展させた独自の課題解決型インターンシップを本格導入しました。約 4 週間という長期にわたり、企業や団体が実際に抱える課題について学生レベルでの解決策を提案するというもので、産業界ニーズに応える実践型人材の育成を目指しています。

今回、二人一組で 20 名の学生を 5 企業 3 団体に受け入れていただき、10 件の課題解決に挑みました。そのうち 3 団体 5 件のプログラムは地域、企業との包括的連携協定を活用して実施したものです。例えば古賀市では、学生が考えた課題解決策を市職員にプレゼンテーションさせていただき、市長、副市長から踏み込んだコメントも頂戴しました。参加学生は「業務が想像よりもクリエイティブで驚きました。受入先では新入職員のように接してもらい、計画変更などのアドバイスをいただきました。来年、古賀市職員の採用試験を受けるつもりです！」と話していました。ルーブリックを用いた達成度評価でも課題問題の発見力や他者とのコミュニケーションに顕著な成長が見られるなど、教育的効果が高い「課題解決型インターンシップ」。今後も連携自治体や企業の協力を得ながら取り組んでまいります。



受入先	テーマ
一般社団法人 新宮町おもてなし協会	人口増加率全国 1 位の新宮町/ 新宮町の魅力発見・発信プロジェクト
古賀市 (総務課、経営企画課、 農林振興課)	18 歳投票スタート！若者の政治参加について 公共交通 市内バスの利用促進
	女性農業者育成
社会医療法人財団 池友会 福岡和白病院	外来患者様の待ち時間対策について

医療、介護との異業種間連携で地域力の向上に貢献します。

福岡工業大学は、社会医療法人財団池友会 福岡和白病院、社会福祉法人創生会と、3者による包括的連携協定を平成27年3月5日に締結しました。本連携は、福岡市の東部5km圏内に所在する医療機関、介護施設と大学が相互に協力し、健康長寿を基盤とするコミュニティの形成と地域を支える人材の育成に寄与することを目的としています。国が少子高齢化への対応策として、高齢者が住み慣れた地域で最後まで自分らしい暮らしが続けられるよう「地域包括ケアシステム」の構築を進めるなか、地域の皆様、福岡市東区と協力しながら和白5校区(和白・和白東・美和台・三苫・奈多)を中心に健康で豊かな地域づくりを進めています。

医介学連携公開講座

福岡工業大学では高齢者を対象とした生涯学習の推進や地域住民同士の交流促進の観点から、エクステンションセンター「FIT オープンカレッジ」で“医介学連携公開講座”を開講しています。いずれの講座も座学で知識を得るだけでなく、グループワークや体操教室で実際に対話をしたり体を動かしたりしながら学びを深めるプログラムとなっていて、地域の皆様から毎回好評を得ています。

実施日	テーマ	講師	受講者数
第1回 平成28年5月26日	地域包括ケアシステムって なんだろう？	福岡市東区保健福祉センター 地域保健福祉課 課長 入澤 由三子 氏	41名
第2回 平成28年10月27日	健康寿命とロコモティブ シンドローム	福岡和白病院 理学療法士 東房 佑樹 氏	30名
第3回 平成29年3月2日	メタボリックシンドロームの 基礎知識	福岡和白総合健診クリニック 院長 山永 義之 氏 福岡和白病院 健康運動指導士 山本 聖 氏	29名



吹奏楽団コンサート開催at「奈多創生園」



福岡工業大学吹奏楽団が、平成28年6月に創生会が運営する介護施設「奈多創生園」でコンサートを開催しました。このコンサートは、学生による社会貢献・地域交流活動の一環として、介護施設入所者とそのご家族、施設職員の皆様のレクレーションを目的に実施したものです。当日は、吹奏楽コンクールの全国大会入賞常連校として地元でも人気の吹奏楽団から28名の精鋭メンバーが参加。日本愛唱歌集や歌謡曲のほか、楽器紹介やサクソファンサンプルなど163名の方々の前で息の合った演奏を行い、「迫力ある演奏に触れて入所者の皆さんの表情が一瞬で明るくなった。」など、ご家族や施設職員の皆様にも大変喜ばれました。

創生園作品展に学生サークルからも出展



「奈多創生園」では、地域交流活動の一環として施設利用者やそのご家族、施設職員、ボランティアや地域の方が作られた工芸品を展示即売する「作品展」が毎年開催されています。福岡工業大学からも写真部、モダンアート部、サブカルチャー同好会が2年前から作品を出展。平成28年度は10月1日から5日まで開催され、期間中、展示品や即売品を楽しみに多くの方が訪れました。開催初日は、学生も会場に足を運び施設の方々や地域の方々と交流しました。来場者の方々に喜ばれると共に、学生にとっては介護について知り、学び、地域とふれあう貴重な機会となったようです。

国公立3大学連携／長崎大学・熊本県立大学・福岡工業大学

“環境系学部”を有する3大学が連携し九州北部の環境問題に向き合います。

平成26年12月4日、長崎大学、熊本県立大学、福岡工業大学の3大学が国立、県立、私立の枠を超えて環境分野における包括的連携協定を締結しました。県域を越えた連携により、九州北部の環境問題に向き合い、解決のための教育連携、研究連携、人材育成に取り組んでいます。

第3回環境フォーラム 「社会環境シンポジウム」



平成28年12月、福岡工業大学で第3回国公立3大学環境フォーラム「社会環境シンポジウム」を開催。3大学の環境教育・研究活動の特徴を活かした効果的な協働研究の可能性を模索するとともに、社会科学の視点から“地域との連携”を重視した環境調和（配慮）型社会の形成について、その具体的取組みを地域の皆様とともに考えました。後半のポスターセッションには、3大学の若手研究者と学生が多数参加。中には留学生による英語のプレゼンテーションも交えながら、日頃の研究成果について成果発表と意見交換を行いました。

第5回福岡工業大学・ 長崎大学ピオトープサークル交流会



連携事業の一環として、長崎大学「ピオトープパレット」と福岡工業大学「ピオトープ研究会」の教員、学生が毎年相互に交流会を開催しています。平成28年度は8月に福岡で実施。お互いの活動報告に続き、本学と連携協定を締結している新宮町丸ピオトープ公園を観察するなど交流を深めました。大学のピオトープ研究活動で、このような大学間連携による交流はあまり例がなく、環境教育の一環として、人材育成や研究活動にも繋がる連携の推進が期待されています。

東部地域大学連携／福岡女子大学・九州産業大学・福岡工業大学

福岡市東部に位置する3大学が連携し「地域と共に発展する大学」を目指します。

福岡工業大学は福岡女子大学、九州産業大学と平成23年11月9日に“東部地域大学”として連携協定を締結しました。以来、学生交流を中心に相互の教育・研究の進展と地域社会の発展に寄与することを目的とした活動を続けています。

東区委託事業 「東部地域大学連携シンポジウム」



地域貢献事業の一環として、平成28年度から福岡市東区の委託による「地域力の向上」をテーマとする研究活動に3大学の研究者が取り組んでいます。そのキックオフとして「超高齢・長寿社会を支える地域力を考える～福岡市東区のケース～」と題し、地域の担い手づくりに何が必要かを地域の皆様と共に考えるシンポジウムを九州産業大学で3月11日に開催。定員を超える184名の皆様に参加いただき大変好評を博すと共に、2年目以降の取り組みに福岡市からも熱い期待が寄せられました。

学生による地域貢献活動



平成24年度より地域貢献および学生交流活動の一環として、各校の学生自治会・学友会のメンバーによる「学生懇話会」が中心となって、福岡県東警察署と協働で飲酒運転撲滅キャンペーンや3大学キャンパス周辺地域の清掃等を実施しています。また、東区内で増えている性犯罪を防ごうと3大学と福岡県東警察署が連携して「女子学生のための防犯推進協議会」が平成28年4月に発足。協議会メンバーの女子学生が主体となりキャンペーン参加やアプリ開発協力など様々な防犯啓発活動を行っています。

2016年度活動一覧

4月

April

- 医介学連携「地域包括ケアシステム勉強会」(於: 東区保健福祉センター)
- 新宮町「人丸公園ピオトープ自然観察会」(社会環境学科ピオトープ研究会)
- 新宮町旅エンジョイプロジェクト「STEP」動画制作開始
- 東部地域大学連携「女子学生のための防犯推進協議会」
発会式・街頭キャンペーン
- 新宮町「グリーン作戦(町内一斉清掃活動)」参加協力

5月

May

- 医介学連携「フリマみとま in 和白」出店協力
- 古賀市・福岡工業大学「第1回連携協議会」
- 新宮町・福岡工業大学「第1回連携協議会」
- 医介学連携
「第1回医介学連携講座“地域包括ケアシステムってなんだろう?”」

6月

June

- 東部地域大学連携「なみきスクエアオープニングイベント」出店(留学生交流事業)
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト
「ふくおかITWorkouts2016 KickOff Workout」参加
- 東部地域大学連携
「インターネット掲示板利用による性犯罪防止キャンペーン」
- 東部地域大学連携
「第1回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」
- 古賀市「コスモス市民講座講演会」
(講師: 社会環境学科仁科信治教授)
- 医介学連携「福岡工業大学吹奏楽団演奏会」(於: 奈多創生園)
- 古賀市・正興電機株式会社
「留学生短期インターンシップ」タイ人学生派遣
- 古賀市「学習アシスタント」ボランティア学生活動開始
- 東部地域大学連携
「東部地域大学連携・西部地区5大学連携合同学長懇話会」

7月

July

- 医介学連携「第1回連携協議会」
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト
「九州PBL合同大会」参加(於: 九州大学)
- 古賀市「鍵盤ハーモニカ教室視察」
(参加協力: 社会環境学科植崎兼司准教授)
- 東部地域大学連携「第1回推進委員会」
- 新宮町「寺子屋事業」運営協力
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣

8月

August

- 新宮町「糟屋区小学校理科教育研究会実験講習」
(講師: 生命環境科学科天田啓准教授)
- 新宮町「小学校就学前児童対象登校訓練シミュレータ開発」
意見交換会(システムマネジメント学科藤岡研究室)
- 新宮町「就業体験型インターンシップ」学生派遣
- 国公私環境系3大学連携「第5回ピオトープサークル交流会」
(福岡工業大学「ピオトープ研究会」、長崎大学「ピオトープパレット」)
- 医介学連携「福岡和白病院体操教室」ボランティア学生派遣
- 新宮町「サマーキャンプ」ボランティア学生派遣
- 「課題解決型長期インターンシップ」活動開始
(於: 古賀市、新宮町、福岡和白病院)
- 古賀市「農業振興のための意見交換会」
(古賀市農林振興課、知能機械工学科江頭研究室、
電気工学科北崎研究室)
- 東部地域大学連携「飲酒運転撲滅キャンペーン」参加協力

9月

September

- 新宮町たのしんぐらプロジェクト
「ふくおかITWorkouts2016 CommunicationWorkouts」
(中間報告会)参加
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 医介学連携「三苫地区住民安心メール登録会」
学生ボランティア派遣
- 東部地域大学連携「性犯罪防止キャンペーン」

10月

October

- 医介学連携「奈多創生園作品展」出展
(写真部・モダンアート部・サブカルチャー同好会)
- 福岡財務支局金融講座「FIT オープンカレッジ1日集中講座」
- 東部地域大学連携「高等学校女子生徒のための防犯セミナー」
実施(於: 九州産業大学)
- 東部地域大学連携「千早並木グローバルフェスティバル」共催
(留学生地域交流事業)
- 新宮町「ICTを活用したアクティブラーニング推進支援」
意見交換会参加(システムマネジメント学科藤岡寛之教授)
- 医介学連携
「第2回医介学連携講座“健康寿命とロコモティブシンドローム”」

11月

November

- 新宮町「小学校就学前児童対象登校訓練シミュレータ開発」
福岡県警察本部訪問(システムマネジメント学科藤岡研究室)
- 古賀市「お友達作戦」福岡工業大学立花祭参加
(農林振興課、商工政策課、経営企画課)
- 古賀市「マイクロバブル水を用いた“あまおう”苗の路地栽培開始」
(知能機械工学科江頭研究室)
- 新宮町「防災ハザードマップ研究開発 防災まちあるきワーク
ショップ」参加(社会環境学科森山研究室)
- 東部地域大学連携「児童虐待防止キャンペーン」
参加協力(於: なみきスクエア)
- 新宮町・福岡工業大学「第2回連携協議会」

12月

December

- 新宮町たのしんぐらプロジェクト「ふくおかITWorkouts2016
PresentationWorkouts」(成果報告会)参加
- 東部地域大学連携「第2回推進委員会」
- 東部地域大学連携「歳末交通安全キャンペーン」参加協力
(於: 香椎浜イオンモール)
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 古賀市「可燃ごみ組成分析調査」(生命環境科学科久保裕也准教授)
- 医介学連携「第2回連携協議会」
- 国公私3大学連携「第3回環境フォーラム
“社会環境シンポジウム”」開催
- 新宮町「歳末一斉安心安全パトロール」ボランティア学生派遣

1月

January

- 九州地区中高生対象「省エネ政策提案型パブリック・ティベート
コンテスト」開催協力
- 古賀市「家トレブック鍵盤ハーモニカ編」プレスリリース
コメント執筆(社会環境学科植崎兼司准教授)
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 東部地域大学連携
「第2回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」
- 新宮町「相島お土産開発」PBL授業成果報告会
(社会環境科学科土屋ゼミ、藤井ゼミ)
- 新宮町「立花小学校6年生社会科見学」受け入れ

2月

February

- 古賀市・福岡工業大学「第2回連携協議会」
- 福岡都市圏大学合同「面接対策ワークショップ①②」
- 東部地域大学連携「清掃活動クリーン大作戦」実施
(於: 福工大キャンパス、九産大キャンパス、福女大キャンパス)
- 東部地域大学連携「福岡県警女子防犯アプリモニター協力感謝状
贈呈式」(於: 九州産業大学)

3月

March

- 医介学連携
「第3回医介学連携講座“メタボリックシンドロームの基礎知識”」
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト「PBLサミット2017」参加
(於: 東京)
- 東部地域大学連携「東区委託事業シンポジウム
“超高齢・長寿社会を支える地域力を考える”」(於: 九州産業大学)
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト「LODチャレンジ2016」
授賞式(於: 東京)
- 新宮町「VRを用いた幼児登下校訓練シミュレータ開発」
福岡県警訪問成果報告(システムマネジメント学科藤岡研究室)
- 古賀市長・副市長来校
- 新宮町「人丸公園ピオトープ自然観察会」開催
(社会環境学科ピオトープ研究会)
- 新宮町旅エンジョイプロジェクト「STEP」動画完成上映会
- 東部地域大学連携「第3回推進委員会」
- 医介学連携「第3回連携協議会」